



第81巻 第1号
年4回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田3-15-2
TEL 03-3387-5567
http://www.jiseikai.jp
振替口座 ベタニアの家
00170-6-15317

癒しと希望の時

シスター田代嘉子

主の
ご降誕と

新年のお喜びを申し上げます。

新年を迎え、願いを込めてともに祈ります。私たちが主の交わりのうちに、協働して創立者の遺志を受け継いでいきますように！一人ひとりが幸せであり、子どもたちが健全に成長し、病者・高齢者が温かい世話を受け大切にされますように！厳しい試練の中にある人々が必要な助けと励ましを受けることができ、すように！世界中の人々に主の平和が訪れ、平和な年となりますように！



施設の各近
慈生会
の関付
「やさしき
母」像

昨年は緊急事態宣言や蔓延防止の長期化、変異株拡大による医療逼迫と、現実面での対処の難しさが際立った一年だったように思います。ワク

チン接種が進んだことで、人々のつながりも少しずつ戻ってきましたが、新型コロナウイルスの影響から緊張状態が続いた混沌の一年を経て迎える二〇二二年は一体どんな年になるのでしょうか。

昨年は内外的にも課題が山積した厳しい状況の中でありましたが、ノーベル物理学賞の真壁淑郎さんや将棋で最年少四冠に輝いた藤井聡太さん、野球界で最高の栄誉を受けた大谷翔平選手たちの輝かしい笑顔で、私たちは喜びと希望に湧きました。一方、日本だけを見ても、数え上げればきりがなほどの痛ましい事件が起こり、生きている一人ひとりの存在感が希薄化し、人間の尊厳が軽視されている状況に心が打ちのめされそうでした。また世界的にも気候変動による異常現象の中で、環境破壊や生態系の寸断などが起こりはじめ、人類と自然の間の調和の回復が喫緊の課題となりました。今こそ緊急に救いを必要としている時代、癒しを必要としている時代、そして何よりも希望ということが必要な時代だろうと思うのです。

干支では、新しい年は寅年。辞書

を引くと「寅」には、伸びるとか引く張るといふ意味があり、虎が繁みから飛び出すように、新しいものが勢いよく生まれる時だとあります。

慈生会は八年後の令和十二年に創立百周年を迎えます。昨年の十月頃から、創立百年を迎えるにあたってこれまでの歩みを振り返り、今後のあるべき姿を具現できるよう、以前に策定した中長期運営方針を更新する準備に入りました。

慈生会の創立の意図、事情において始めざるを得なくなったベタニアの家の目的を「フロジャク神父の生涯」(五十嵐茂雄著)の中から思い起こしてみると、『フロジャク神父とその伴侶たちは、結核を「問題」として捉えたのではない。彼らの前には「問題」があったのではなく、「人間」が、いま現に苦しんでいる人間があっただけである。』という箇所があります。まさに創立者の琴線に触れる思いであり、私たちの道標でもあるように感じています。

この創立の原点から逸れることなく、いつの世にも耐えない苦しみに悩む人と出会っていき、真に慈しみに生きることを探していき、新しい一年にしたいと思っています。どうか慈生会のために、皆様の変わらぬご鞭撻、ご支援をお願い申し上げますとともに、皆様の上にご健康と、神様の恵み、祝福を心からお祈り申し上げます。

(慈生会理事長)

謹んで主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げます、皆様の上に豊かな恵みをお祈り致します。

社会福祉法人 慈生会

理事長 Sr・田代嘉子

役員一同

徳田保育園

中野トータルサポートセンター

ベタニアホーム・慈しみの家

ベタニア・デイ・ホーム(月)(星)

中野北ベタニア訪問看護ステーション

慈生会中野ケアプランセンター

ベタニアヘルパーステーション

中野区江古田地域包括支援センター

ナザレットの家

ベトレヘム学園

聖家族ホーム

聖ヨゼフ老人ホーム

慈生会清瀬ケアプランセンター

ベトレヘムの園病院

マ・メゾン光星

指定相談支援事業所ノエル

放課後等デイサービス エスポワール

学校法人 東星学園

(幼・小・中・高等学校)

理事長 Sr・田代嘉子

教職員一同

ベタニア修道女会

総長 Sr・田代嘉子

姉妹一同

姉妹一同

コロナ禍を地域で逞しく生きる

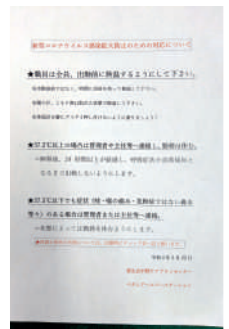
坂本 真理

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様、令和四年のお正月は、
どのようによごされますか？コロナ
禍にてお正月を迎えるのも三回目と
なりました。厳密に言うとう令和二年
のお正月は、前月に中国にて初めて
コロナウイルスが確認されたものの、
日本ではまだ流行しておりません
でしたので、いつも通りのお正月を過
ごす事ができたと思ひます。そ
の後二月に入り、生活が一変し始め
ます。今回この原稿を作成するにあ
たり、【怒涛の二年を振り返ってみ
よう】とまづは関係書類を綴じたファ
イルを机の上に並べてみました。最
初は一冊から始まり、今では九冊に



机の上に並べたファイル

増えておりました。
また、感染予防のため、スタッフ
に実施してもらう措置についてま
めたお知らせは令和二年二月下旬
ものが第一号でした。



お知らせ第1号

最初は全てが手探り状態のため、
在宅部門とベタニアホーム間で情報
交換と共有を行い、協力し合いなが
ら業務を行えた事は、今振り返ると
コロナと向き合う【強い力】になっ
ていたと思ひます。その【力】を、
この地域にも還元できていると思
ひます。正しい予防知識を利用者様
や地域の皆様にお伝えする事で、感
染拡大を防ぎ、また近隣の医療機関
にてクラスターが発生した際にも、
この地域では、その病院を応援する
声が多く聞かれました。そんな懐の
深さを感じさせられる地域でもあり
ます。

元々結核療養所があつたこの地域。
フロッジャク神父様が蒔いて下さつた
種が、芽を出し逞しく成長している
事を楽しみ感じます。コロナ禍
において、このような新しい発見を
する事もできました。

終息にはまだ時間はかかるかもし
れませんが、皆様と一緒に逞しく乗
り越えていきたい、と思ひます。
それでは、本年もどうぞ宜しくお願
い申し上げます。
皆様の幸せを心よりお祈り申し上
げます。

(ベタニアホーム 副施設長)

来たるべき日に備えて

大平 雅士

中国の書物に『有備無患』という
故事があります。これを言いかえる
と『備えあれば憂いなし』というこ
とわざになります。実はこの故事
『居安思危、思則有備、有備無患』
という一文から抜粋されたもので
『安きに居りて危うきを思う、思え
ばすなわち備えあり、備えあれば患
い無し』と読みます。安全な状態
でも危険な時のことを考える。考えれ
ばそれに対して備えをするようにな
る。備えていれば何も心配はいらな
い、という意味になります。

東日本大震災から十年が過ぎまし
た。戻りつつある日常とあの日を境
に高まった防災意識は、新型コロナ
ウイルスの脅威と新しい日常の確立
の名の下に薄れてしまつたように感
じます。

しかし、近い未来に必ず起こると
される百年周期で発生している南海
トラフ地震は、前回の発生からす
でに七十年近くが経過し、その切迫性
が年々高まっています。さらに昨今、
気候変動による自然災害の激甚化が
顕著に見られており、今こそ有事に
向けた防災準備が必要になつてきて
います。

さて、マ・メゾン光星では、去る
十月二十一日『炊き出し訓練』が行
なわれました。炊き出し訓練とは、
災害時に電気・ガス・水道などライ
フラインが途絶えたことを想定し、
利用者の皆さんの食事をどのよう
に提供するかシュミレーションする訓
練のことです。今年は大鍋で作る豚

汁とハイゼックス米※を提供しまし
た。

この炊き出し訓練は、東日本大震
災で味わた炊き出しの食事を思い
返すことで、



大鍋で作る豚汁



非常時の食事提供

利用者の防災
意識を高める
ため、そして
備蓄されてい
る食品を入れ
替える機会と
して大切な行
事になつてい
ます。また今
年は、百合炊
きガス炊飯器
や百人分の調
理が可能なガ
スコンロのセ
ット、ガスス
トク、ガスが
ある限り使用
可能な発電機
を二台購入し
ました。これ
により、非常
時の食事提供
や電源を確保
できるように
なります。さ
らには年度
内の完成を目
指し、防災マ
ニュアル及び
災害における
事業継続計画
(BCP)の整備
に取り掛かっ
ていくと思
います。
いかなる災害
が起きても利
用者の安全と
安心が確保で
きるように、
来たるべき日
に備えていき
たいと思ひ
ます。

【注釈】※ハイゼックス米とは、輪
ゴム止めし、空気を抜いた包装食袋
の無洗米を沸騰した大鍋の熱湯の中
に入れて作るご飯のこと。
(マ・メゾン光星 防災責任者)

追悼祈りの集いを終えて
故人を想う瞬間を重ねて

大和 理恵

清瀬地区3施設で行っていた合同慰霊祭から独立し、平成二十六年から病院独自で毎年十一月に「追悼祈りの集い」を開催しています。集いには直近一年のあいだに、当院でご帰天された方のご遺族を招待しています。秋津教会をお借りし、神父様にもご協力いただき、今年度も十一月二十五日に無事開催することができました。

全床療養病棟になって以後も、患者さんを看取る機会を重ねてきました。最期の時をご本人・家族がどう過ごしていきたいと望んでいらっしゃるか(ACP)を聴き取り、どう応えていくか、他職種と連携し、日々向き合っています。また看取りをした後も、「デスカンファレンス」の機会を設け、自分たちの携わってきたケアに対し、振り返るようにしています。また当院の中長期事業計画のビジョンも『人生最期の時を自宅でごすような「穏やかな時間」と「温かいケア」を提供できる病院になる』

と掲げて事業を継続しています。

患者さんが帰天されてからも、ご遺族に思いを寄せる「グリーンケア」に注目し、二つの取り組みを始めました。先ず一つ目は、当院でご帰天されてから三か月後を目安にグリーンケアのはがきをご遺族宛に送っています。マリア様の像等が印刷されている当院オリジナルはがきに、患者さんの病棟担当看護・介護士・リハビリ・相談室スタッフが、かわった時の思い出など一言添えて送ることにしています。ご遺族から「気にかけてくださっていることが嬉しかった」「まだまだ癒えませんが、心温まるケアをしてくださったことに感謝です」などお返事をいただくこともあり、スタッフも目を通し、温かい気持ちを頂くことが出来ています。

そして二つ目の取り組みは冒頭に記載した「追悼祈りの集い」です。患者さまが帰天された後は、ふらっと立ち寄ることも、患者様との思い出が詰まっている場所であり辛いなど、来院する機会もなくなってしまう。私たちスタッフも、ご遺族のその後が気になるにこともあります。年に一度故人を偲び、ご遺族の傍らに寄り添える機会として、祈り

の集いを開催する運びとなりました。

集いの流れとしては、秋津教会の聖堂で、神父様とオルガン奏者の協力のもと追悼の祈りをを行います。神父様からの祈り、物故者名紹介、献花、聖歌と続きます。多くの帰天者のご遺族のことも思い、祈ります。集いの時、職員は代表者だけの参加となりますが、当日出勤している職員には休憩時間等に献花が出来るよう聖堂を開放しています。毎年優しい色合いのカーネーションを用意して頂き、ご遺族にも持ち帰っていただけるよう準備しています。



追悼祈りの集い

そのあと秋津教会のマリアホールをお借りして、ご遺族との茶話会を行います。茶話会ではご遺族から、

故人に対する癒えない思いや、当院に入院していた頃の思い出など、話していただく機会でもあります。

多くの職員が入れ替わり参加することで、ご遺族の思いを伺うことができ、振り返る大切な時間となります。コロナ感染症拡大により、昨年に続き今年も残念ながら茶話会は中止になりました。その代わりに集いの始まる前に、ご家族にメッセージを書いて頂き、クリスマスツリーとして各病棟に掲示することにしました。



ご家族からのメッセージクリスマスツリー

これからも多くの出会いとともに、別れも受け入れていかなければなりません。そして今までと変わらず、別れた後(帰天後)の故人や、ご遺族に思いを寄せていくことも継続する必要があります。最期の場所がベトレヘムの園病院でよかったと感じていただけるよう日々のかかわりを大切に重ねていきたいと思っています。

(ベトレヘムの園病院 事務次長)

ベタニアの家



一月行事予定

- 1日 ☆神の母聖マリア
- 1日 ☆世界平和の日
- 1日 《元日》
- 2日 ☆主の公現
- 9日 ☆主の洗礼
- 10日 《成人の日》
- 13日 聖家族ホーム 開設記念日
- 19日 慈生会 理事会
- 22日 ベタニア宣教センター主催 「創世記」(I) お話
- 23日 ☆神のみことばの主日
- 30日 ☆世界こども助け合いの日

二月行事予定

- 2日 ☆主の奉献
- 3日 ☆福者ユスト高山右近殉教者
- 8日 ベトレヘムの園病院
- 11日 ☆世界病者の日の祈りの集い
- 11日 ☆ルルドの聖母
- 11日 《建国記念の日》
- 18日 ☆聖ベルナデッタ祝日
- 19日 ベタニア宣教センター主催 「創世記」(II) お話
- 23日 《天皇誕生日》
- シスター松永泰子

三月行事予定

- 1日 東屋学園 高校卒業式
- 2日 ☆灰の水曜日
- 6日 ☆四旬節第一主日
- 11日 東屋学園 小学校卒業式
- 12日 東屋幼稚園 卒園式
- 12日 徳田保育園 卒園式
- 12日 ベタニア宣教センター主催 「創世記」(III) お話
- シスター小林和子
- 18日 慈生会 理事会
- 16日 ☆性虐待被害者のための祈りと償いの日

金 祝

- 19日 ☆聖ヨセフ 《春分の日》
- 21日 慈生会 評議員会
- 24日 ☆神のお告げ
- 25日 ベタニア宣教センター 映画に学ぶ「明日へつなぐ歌」
- 26日

昨年十月十六日、会の保護の聖人の祝日に大倉神父様の司式により聖ベルナデッタ修道院聖堂で三名の姉妹の金祝感謝のミサが行われました。五十年のそれぞれの奉献の歩みをお支えくださった皆様に感謝いたします。創立者の生き方に倣い、最後まで祈りと小さな奉仕、出会いを通して福音の喜びを伝えてまいります。

- 金祝者
- シスターヴィクトリア 山内 文子
 - シスターダニエル 中村 美智子
 - シスターリタ 原田 和子
 - (ベタニア修道女会)



- 後列 右から2番目 シスター山内
- 後列 右から4番目 シスター中村
- 前列 中央 シスター原田

計 報

シスターマリアロザリー 吉田 久子



一九二七年 生

一九七一年 歴 九月十六日 十月十七日

立誓願 天

編集後記



駄菓子、ジュース、ゲーム、パソコンアート、キッズコーナーなど、少しの時間でしたが子どもたちは充分、楽しむことができました。来年のどんぐり祭は第五十回目となります。賑やかに、みんなが集まることが出来るどんぐり祭が開催できることを願っております。

最近我が家では、ドクターストーンというアニメブームが起きています。ある日一瞬で全人類が石化し、文明が消え原始時代に戻った三七〇〇年後の地球で、再び目覚めた主人公達がゼロから文明を築いていくという物語です。

それを見てみると、いかに現代の生活があらゆるモノに囲まれ、それを消費し続ける日々かを実感します。そして、周囲の人々と手を取り合っ

(杉山 智和)

ベタニアホームでは、毎年、第三者評価機関による利用者ご家族アンケートを行っています。今年度は、「面会を元通りにしたい」「面会中止の解除はいつになるか」というご意見が多かったです。二年近くに渡り面会を制限しておりますので、ご家族の気持ちを考えてと心苦しい思いでいっぱいです。今年こそはコロナ禍以前のご家族面会に戻ることを願うばかりです。今年もどうぞよろしくお願いします。

(中村 英男)

今年も、十一月三日のどんぐり祭は、昨年同様にベトレヘム学園の子どもたちだけでのミニどんぐり祭というかたちになりました。

(Sr 中野 利恵)